

科目名		担当教員名	学期
国際監査論 International Auditing		山本 雄一	後期
目的	国際監査基準（ISA）の基本的な考え方を把握し、各基準書の内容を理解すること。		
概要	ISAの改訂の背景や趣旨を踏まえて、ISAの基本概念や全体構成を把握すること、並びに適宜に事例を織り交ぜることにより実践的な理解を得ることを目指します。 また、米国の監査基準の内容や国際監査保証基準審議会（IAASB）の最新動向等にも適宜触れます。		
到達目標	ISAによる監査の内容を理解できるレベルに到達すること		
成績評価の基準と方法	出席（15%）、理解度テスト（60%）、授業への参加及びレポート（25%）により評点をつけ、100点満点で素点を計算します。この素点が60点以上を合格者とし、相対評価比率に合致するように、素点順にA、B、C、Dの評価を行います。不合格者は素点ベースで60点未満の者とします。		
履修条件	簿記及び会計学を履修しているか、又は同程度の簿記及び会計概念についての知識を有していることが望ましい。		
授業計画			
第1週	オリエンテーション 国際監査基準（ISA）の概要		
第2週	基本概念及び目的並びに監査契約 保証業務の概要（Assurance Framework） 監査人の総括的目的及びISAに準拠した監査等（ISA200及びPreface） 監査契約（ISA210）		
第3週	リスクアプローチ リスク評価手続及びリスク対応手続（ISA315、ISA330） 監査計画（ISA300）		
第4週	内部統制 米国・内部統制監査基準の概要（PCAOB・AS No.5） 内部統制の不備（ISA265） サービスオーガニゼーションの概要（ISA402、ISAE3402）		
第5週	不正及び違法行為 財務諸表監査における監査人による不正及び違法行為の検討（ISA240、ISA250）		
第6週	監査証拠、並びに重要性及び虚偽表示の評価 監査証拠（ISA500） 計画段階における重要性及び虚偽表示の評価（ISA320、ISA450） 監査人の専門家（ISA620）		

第 7 週	サンプリング 統計的サンプリング及び非統計的サンプリング (ISA530)
第 8 週	第 1 週から第 7 週までのまとめ、及び 理解度テスト
第 9 週	監査報告書 ISA における監査報告書 (ISA700 から ISA810)
第 10 週	グループ監査 グループ監査における特別考慮事項 (ISA600)
第 11 週	監査手続 (1 / 3) 立会等、確認、分析的手続、関連当事者、後発事象 (ISA501、ISA505、ISA520、 ISA550、ISA560)
第 12 週	監査手続 (2 / 3) 監査調書、統治責任者とのコミュニケーション、初度監査、経営者確認書、 内部監査 (ISA230、ISA260、ISA510、ISA580、ISA610)
第 13 週	監査手続 (3 / 3) 及び品質管理 見積り及び公正価値、継続企業 (ISA540、ISA570)、金融商品の監査 (IAPN1000) 事務所レベル及び業務レベルの品質管理 (ISQC1、ISA220)
第 14 週	第 9 週から第 13 週までのまとめ、及び 理解度テスト
第 15 週	レビュー及び IAASB の最新動向等 レビューの種類と内容 (ISRE2410、ISRE2400) IAASB の最新動向等 (長文式監査報告書 (ISA701) など)
テキスト 参考書等	<p>【テキスト】 講義の都度、配布します。</p> <p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“Handbook of International Standards on Auditing and Quality Control (2016 Edition)” IFAC (International Federation of Accountants) ・『監査法規集』中央経済社 ・『監査実務指針集』日本公認会計士協会 ・『国際監査基準の完全解説』内藤文雄・林隆敏・松本祥尚 (中央経済社)
その他 特記事項	IAASB の審議状況によって、授業計画を見直す可能性があります。 授業計画の詳細は、第 1 週のオリエンテーションで説明します。